

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2)

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
	□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	すべてのハラスメントの防止に向けた行為の禁止を周知している。 ハラスメント教育や相談体制を整備					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1			
	□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	現場工事工程が優先されがちだが過度の勤務時間にならないよう調整している。 労働時間の管理に着手している									8.5 8.8								
	□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人労働者の受入予定なし 【予定】外国人労働者の雇用環境整備を進め将来的に雇入可能としていきたい。				4.4					8.7 8.8	10.2 10.3							
	□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	ゼネコンの取引業者災害防止協議会への参加、自社安全大会実施、電気工事協会の安全大会、安全教育参加、経営者を含めた安全パトロールを実施し、安全への意識の向上、労働環境の向上に努めている。				3					8								
	□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	メンタルヘルスに関する職場の理解を含めるための教育を行い相談窓口の開設。				3													
	□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性技術者の育成及び教育を始めている。 【予定】多様な人材を採用する整備をし受け入れていく。					5.1 5.5				8.5	10.2 10.3							
	□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	電気・消防・建築関係の必要不可欠な資格取得を積極的に奨励し、講習会費用補助、社内講習を行っている。 資格取得時には、奨励金を支給している。 【予定】役職や、役割に応じた研修を整備し実施する。				4	5.5				8	9							
	□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	同一労働、同一賃金の原則に沿って対応している。 毎年適正な評価をしている。					5.5				8.5	10.2 10.3							
	□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	年1回、健康診断の実施 管理栄養士による健康指導。 朝礼にて毎朝ラジオ体操の実施。				3					8								
環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物の分別、少量化に努めている。 廃棄物は産業廃棄業者を通じ適切な処理をしている。 マニュアルにより廃棄物の種類、量を把握し、台帳で管理している。										11.6	12.4		14.1				
	□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	水道・電気の使用量を数値管理している。								7.3				13					
	□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	社内照明を段階的にLED化している。 自社の温室効果ガス排出量の把握を実施すると共に温室効果ガスの排出量の削減に努める。 【予定】社用車の電気自動車、ハイブリット化を推進									7.2 7.3			12.4	13.3				
	□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	【予定】法令で規制されている有害物質を把握し、削減するように努める。				3.9			6.3				11.6	12.4					
	□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境に配慮した材質、製品サービスを考慮し購入しようとしている。 高所作業車で作業中はエンジンを切り、バッテリーでの稼働とし、騒音、環境に配慮している。							6.6							15			
	□	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	海洋汚染につながるプラスチック製容器包装減少の対応として、使い捨てプラスチック使用の削減を推進している。 資源の再利用を推進している。 廃棄物の分別、削減の実施を行っている												12.5		14.1			
	□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	水使用量の把握をし、社内にて節水の呼びかけを行っている。 【予定】社内水洗を自動水洗化し節水							6.4 6.6										

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	現在取得予定なし			3.9			6	7					12	13.3	14	15							
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	[予定] HPを整備し環境の取り組み状況の公表													12.6									
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	お客様に太陽光発電設備の推奨、節電システムのご提案を行っている							7.2							13								
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ														12.2	13	14	15						
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	社内教育・研修で汚職、贈収賄を禁止し、社内浸透を図っている																					16	16.5
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	社内教育・研修で不正競争行為を含む行動規範の整備、周知を行っている																						16
24	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産権所有なし 特許や商標等の知的財産権を取得した際は保護や管理を行う									8.2	8.3	9											
25	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社内研修を行い情報管理のルールを周知徹底している。 図面管理、工事写真の管理も同様管理ルールを周知徹底している																						16
26	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	自社事業での利用なし																						16
27	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	人権侵害の防止、倫理面での適切な対応について社内教育の実施 [予定]社内規定を策定し、計画的に取り組む					5					8		10		12	13	14	15	16	17			
28	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	得意先様の「困った」に対応するため24時間保安体制を構築している			3.9											12.4								
29	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	品質を向上するために社内研修、安全パトロールを定期的に行っている											9											
30	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	お客様の要望に合わせて、省電力化、LED照明のご提案、太陽光発電設備、高機能機器の推奨、提案を行っている							6						12	13	14	15						
31	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	[予定]社会課題を解決するサービスを電気・消防施設工事の技術を活用し安全安心できるものを開発していければと思っている。 [予定]社会の課題を解決する事業を行っている企業の活動に積極的にご協力する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）